



「多久から発信！SDGs⑬」

「つながる」

(東原彦舎東部校9年 渡 未羽)

東部校の入り口には、アルミ缶の入った大きなコンテナがあります。このコンテナはゴミ箱ではありません。入っているのもゴミではなく、資源という名の「感謝」と「希望」です。

私たち東部校児童生徒会では、アルミ缶を集めてお金に換え、そのお金で地域の施設に車椅子を寄付する活動を行っています。生まれ育った地域のために、何かできることはないかと東部校の先輩たちが始めたこの活動は10年以上続いており、これまでに地域の特別養護老人ホームなど、のべ11か所に車椅子を贈りました。

地域貢献のために、私たち小中学生でもできる活動として、このアルミ缶回収活動は始まりました。

今、その輪はどんどん広がっています。例えば、地域の方々が、出勤前や夕方の散歩のときなどにアルミ缶を持ってきてくださいます。回収ボックスが古くなっているのを見て、地域の方が新しいものを寄贈してくださったり、さらに容量の大きいものを作ってくださいたりしました。このように、温かいご支援があつて、この活動は続いています。

資源のリサイクルや地域貢献という面だけでなく、人と人をつなぐ役割を果たしているこの活動を、これからも続けていきたいと考えています。



連載

野の仏ギャラリー④3

十一面観音坐像

西多久町圓通寺

丸彫りの坐像で、別造りの大きな蓮華台があります。宝冠上に菩薩十面が浮き彫りにされています。天衣が肩から両腕に垂れています。未開の蓮華が差し込まれた瓶を左手に持ち、右手を下げ与願印の形です。十一面観音は観世音菩薩の变化観音で、六観音の一つです。銘の慈眼視衆生は、妙法蓮華経観世音菩薩普門品にある言葉です。

銘「慈眼視衆生」寛政十午正月吉日「圓通潭龍曼



○頭上の十面は、菩薩の修行段階の十場面を表しています。

○与願印は、衆生の願いをかなえますという印です。

○天衣はシヨール状の衣

です。

○銘の寛政十午は西暦1798年です。

○銘の圓通潭龍曼は、圓通寺二十五世大威潭龍と考えられ、曼は老人の尊称です。

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ 生まれたら死へ向かいますその事に何かを感じて生きていますか 野崎 隆幸
- ◆ 居眠りす 吾に息子は親のこと 注意をなせりテレビ観ながら 川浪 信子
- ◆ 今の世についていけない 老いの身よ スマホデビューで少し近づく 梶原恵美子
- ◆ カサカサと桜並木の 落葉踏む 散りて又咲く花を羨しむ 浦野 嘉恵
- ◆ 三世代経れば戦も平和さえも 伝わらぬがヒトと悟りて淋し 尾形 節子

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆ 金色の光あやなす 芒かな 中嶋 清子
- ◆ 一斉に湖に降り立つ 渡り鳥 富樫 明美
- ◆ 鯉節のおにぎり二個や 天高し 本村 則子
- ◆ 振り袖の少女の肩に 散る紅葉 おおやはな 武富 律子
- ◆ コスモスに 風棲みついて 揺れ通し

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆ 一億円 つかこの手で 数えたい 田中 正春
- ◆ 米寿過ぎ 齢を数えるの 忘れ 松下 修
- ◆ 充実の 日々に感謝す 今日 晴れ 中尾 和弘
- ◆ 今朝の夢 世界の旅で 満たされる 田代えみこ
- ◆ 気に入りのドレス 箆で やせている 大谷 和